

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.64



⑥4 尻無沢地区

尻無沢地区は、かつては地区を流れる沢の量が少なく、水も流れにくい土壌であったことからこの地名が付けられたとされており、地区が水で潤い、十分に稲作ができるよう、五穀豊穡の神として信仰されている突智冠神社が建てられたといわれています。(出典：小国の信仰)

当地区では、朝日連峰、飯豊連峰いずれも見ることができますが、撮影日(2月10日)当日は晴天にも恵まれ、青空のもとで白く染まった朝日連峰の山々が堂々とそびえ立つ様子が見られました。2月の前半は積雪も増加し、冬はまだまだ続くと感じたものの、後半にかけて気温も上がり、少しずつ雪解けも始まっているようです。雪解け水が沢を流れ、地区のかたがたに恵みをもたらす春が訪れるのはあと少しです。